

長野県でも

子ども・障がい者等の医療費を一刻も早く

窓口完全無料に!

法改正などにより、医療費の自己負担が増え、この不況下で家庭での医療費負担が、重くのしかかっています。手元にお金が無いからと、受診をためらうことなどないように、子ども・障がい者等の医療費を一刻も早く窓口完全無料にしてください。

## 阿部知事 子ども医療費の現物給付化の検討表明

厚生労働省は12月、子どもの医療費を現物給付にしている自治体に対する国保の減額調整措置（ペナルティ）の一部廃止の事務通知を都道府県宛に発信しました。これを受け阿部知事は、12月末の記者会見で「子どもの医療費の現物給付化に向けた

検討をできるだけ早く着手したい」と表明しました。

今回の阿部知事の踏み込んだ発言は、国の政策変更を受けた受動的な立場からの態度表明ですが、一部とは言え、福祉医療の窓口完全無料化に向けて、「風穴」を開けた歴史的・画期的な政策変更です。

## 県民の声と運動の高揚がどうしても必要です

今こそ一刻も早く、現行の福祉医療給付制度の内容を損なうことなく完全無料化を実現させるため、皆さんの声を県知事に届けましょう。そして、窓口

完全無料化に向け、検討する場を設け、子育て中の親や障がい者等当事者の参加を要望しましょう。

県知事の決断を歓迎し、子ども・障がい者等の医療費窓口完全無料化を一刻も早く実現するため、県知事への要請署名にご協力ください。

福祉医療給付制度の改善をすすめる会

〒381-0034  
長野市高田 276-8 長野県社会保険推進協議会内  
TEL.026-223-1281 FAX.026-223-1291